

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	研究科の設置							
フリガナ設置者	ガクホウジケン カンセイガクイン 学校法人 関西学院							
フリガナ大学の名称	カンセイガクインダクガクガクイン 関西学院大学大学院 (Kwansei Gakuin University Graduate School)							
大学本部の位置	兵庫県西宮市上ケ原一番町1番155号							
大学の目的	<p>関西学院大学大学院は学部における一般的及び専門的教養の基礎の上に、専門の学科を教授研究し、深広な学識と研究能力とさらに進んで研究指導能力を養い、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うとともに、キリスト教主義に基づいて人格を陶冶し、もって文化の進展に寄与することを目的とする。</p> <p>修士課程は、広い視野に立って清深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とする。</p> <p>博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。</p>							
新設学部等の目的	<p>教育学研究科と同時に設置する教育学部においては、乳幼児から児童・青年にいたる子どもの成長・発達を見ていくなかで、まずは乳幼児期の発達を十分理解したうえで児童期、思春期と教育研究を積み上げていくことを目指している。本研究科においても、こうした基本的な視点から教育研究を進める。幼児教育学領域と臨床教育学領域との連携によって、高度な専門的知識と理論構築、さらには教育現場の現実に即した支援の方法を学ぶことによって、教育を取り巻く多くの困難な状況に向き合い、具体的な支援のできる人材の養成を目指す。</p> <p>修士課程前期課程においては、広い視野に立った研究者の養成とともに、教育界や社会の要請に応じて様々な分野において指導的役割を担える、高度な専門的知識と技能を持った人材養成のための教育を行う。</p> <p>博士課程後期課程は、専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力、及びその基礎となる豊かな学識を持った研究者養成を目的とする。</p>							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	関西学院大学大学院 博士課程前期課程 教育学研究科 [Graduate School of Education]	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	兵庫県西宮市岡田山 7番54号
	教育学専攻 [Graduate Department of Education]	2	6	-	12	修士 (教育学)	平成21年 4月1日 第1,2年次	
	計		6	-	12			
関西学院大学大学院 博士課程後期課程 教育学研究科 [Graduate School of Education]	年	人	年次人	人		年 月 第 年次		
教育学専攻 [Graduate Department of Education]	3	3	-	9	博士 (教育学)	平成21年 4月1日 第1,2,3年次		
計		3	-	9				

同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		次の各事項を平成21年4月1日から行う。 関西学院大学の学部等の設置等 ①社会学部社会学科 (+175) 定員増 (平成20年3月申請済み) ②理工学部物理学科 (△35) 定員減 (平成20年3月申請済み) ③理工学部数理学科 (+75) 設置 (平成20年4月届出済み) ④理工学部生命科学科 (+30) 定員増 (平成20年3月申請済み) ⑤理工学部情報科学科 (△50) 定員減 (平成20年3月申請済み) ⑥理工学部人間システム工学科 (+80) 設置 (平成20年4月届出済み) ⑦総合政策学部総合政策学科 (△120) 定員減、3年次編入学 (△15) 定員減 (平成20年3月申請済み) ⑧総合政策学部都市政策学科 (+100) 設置 (平成20年4月届出済み) ⑨総合政策学部国際政策学科 (+120、3年次編入学 +15) 設置 (平成20年4月届出済み) ⑩教育学部幼児・初等教育学科 (+280、3年次編入学 +5)、臨床教育学科 (+70) 設置 (平成20年5月別途申請) ⑪理工学研究科数理学専攻修士課程 (+10) 設置 (平成20年4月届出済み) ⑫商学研究科博士課程後期課程 (△5) 定員減 (平成20年4月届出済み) ⑬教育学研究科教育学専攻博士課程前期課程 (+6)、博士課程後期課程 (+3) 設置 (平成20年5月届出) 聖和大学との合併による設置者変更 ⑭教育学部幼児教育学科 (+140、3年次編入学 +5) ⑮人文学部キリスト教学科 (+15)、グローバル・コミュニケーション学科 (+75、3年次編入学 +15) ⑯教育学研究科幼児教育学専攻 (博士課程前期課程+6、博士課程後期課程+3) 聖和大学短期大学部との合併による設置者変更 ⑰聖和大学短期大学部保育科 (+150) 聖和大学短期大学部から聖和短期大学への名称変更 (平成20年5月別途届出)							
		開設する授業科目の総数		卒業要件単位数					
教育課程	新設学部等の名称	講義	演習	実験・実習	計				
	関西学院大学大学院 教育学研究科 教育学専攻 博士課程前期課程	33科目	8科目	0科目	41科目	32単位			
	関西学院大学大学院 教育学研究科 教育学専攻 博士課程後期課程	0科目	6科目	0科目	6科目	12単位			
新設 分	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
		関西学院大学大学院 教育学研究科 教育学専攻 博士課程前期課程	人 11 (9)	人 4 (3)	人 — (—)	人 — (—)	人 15 (12)	人 — (—)	人 7 (5)
		計	11 (9)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	15 (12)	0 (0)	7 (5)
		関西学院大学大学院 教育学研究科 教育学専攻 博士課程後期課程	人 6 (6)	人 1 (1)	人 — (—)	人 — (—)	人 7 (7)	人 — (—)	人 — (—)
	計	6 (6)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	

教員	既	学部等の名称	専任教員等					兼任 教員		
			教授	准教授	講師	助教	計		助手	
組	設		人	人	人	人	人	人		
					関西学院大学大学院 博士課程前期課程					
員		神学研究科	神学専攻	7 (7)	2 (2)	— (—)	— (—)	9 (9)	— (—)	3 (3)
			文学研究科	文化歴史学専攻	25 (25)	3 (3)	— (—)	— (—)	28 (28)	— (—)
総合心理学専攻	10 (10)	3 (3)		— (—)	— (—)	13 (13)	— (—)	27 (27)		
文学言語学専攻	27 (27)	4 (4)		— (—)	— (—)	31 (31)	— (—)	22 (22)		
組		社会学研究科	社会学専攻	21 (21)	— (—)	— (—)	— (—)	21 (21)	— (—)	14 (14)
			法学研究科	法学・政治学専攻	34 (33)	2 (2)	— (—)	— (—)	36 (35)	— (—)
織		経済学研究科	経済学専攻	29 (29)	8 (8)	1 (1)	— (—)	38 (38)	— (—)	12 (12)
			商学研究科	商学専攻	26 (26)	7 (7)	— (—)	— (—)	33 (33)	— (—)
の	設	理工学研究科	修士課程	9 (8)	1 (1)	1 (1)	— (—)	11 (10)	— (—)	10 (7)
			博士課程前期課程	10 (10)	2 (2)	— (—)	— (—)	12 (12)	— (—)	15 (15)
			物理学専攻	6 (7)	4 (3)	1 (1)	— (—)	11 (11)	— (—)	10 (10)
			化学専攻	10 (10)	2 (2)	— (—)	— (—)	12 (12)	— (—)	9 (9)
			生命科学専攻	16 (15)	4 (4)	1 (1)	— (—)	21 (20)	— (—)	9 (9)
			情報科学専攻	39 (39)	8 (8)	— (—)	— (—)	47 (47)	— (—)	24 (24)
概		総合政策研究科	総合政策専攻	20 (20)	15 (15)	— (—)	— (—)	35 (35)	— (—)	16 (16)
		言語コミュニケーション文化 研究科	言語コミュニケーション文化 専攻	15 (15)	7 (7)	— (—)	— (—)	22 (22)	— (—)	2 (3)
要	分	人間福祉研究科	人間福祉専攻	304 (302)	72 (71)	4 (4)	0 (0)	380 (377)	0 (0)	234 (232)
		計								
		博士課程前期課程 合計		315 (311)	76 (74)	4 (4)	0 (0)	395 (389)	0 (0)	241 (237)

平成20年4月
設置届出済み

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員
			人	人	人	人	人	人	人
既設	関西学院大学大学院 博士課程後期課程								
	神学研究科	神学専攻	7 (7)	2 (2)	- (-)	- (-)	9 (9)	- (-)	- (-)
	文学研究科	文化歴史学専攻	25 (25)	3 (3)	- (-)	- (-)	28 (28)	- (-)	- (-)
		総合心理学専攻	6 (7)	2 (2)	- (-)	- (-)	8 (9)	- (-)	- (-)
		文学言語学専攻	27 (27)	4 (4)	- (-)	- (-)	31 (31)	- (-)	- (-)
	社会学研究科	社会学専攻	20 (21)	- (-)	- (-)	- (-)	20 (21)	- (-)	7 (7)
	法学研究科	政治学専攻	21 (21)	1 (1)	- (-)	- (-)	22 (22)	- (-)	2 (2)
		基礎法学専攻	7 (7)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (7)	- (-)	3 (3)
		民刑事法学専攻	18 (17)	1 (1)	- (-)	- (-)	19 (18)	- (-)	3 (3)
	経済学研究科	経済学専攻	29 (29)	8 (8)	1 (1)	- (-)	38 (38)	- (-)	2 (2)
	商学研究科	商学専攻	25 (26)	6 (6)	- (-)	- (-)	31 (32)	- (-)	1 (1)
	理工学研究科	物理学専攻	16 (18)	3 (3)	1 (1)	- (-)	20 (22)	- (-)	- (-)
		化学専攻	6 (7)	4 (3)	1 (1)	- (-)	11 (11)	- (-)	- (-)
		生命科学専攻	10 (10)	2 (2)	- (-)	- (-)	12 (12)	- (-)	1 (1)
		情報科学専攻	16 (15)	4 (4)	1 (1)	- (-)	21 (20)	- (-)	- (-)
	総合政策研究科	総合政策専攻	39 (39)	8 (8)	- (-)	- (-)	47 (47)	- (-)	- (-)
	言語コミュニケーション文化研究科	言語コミュニケーション文化専攻	20 (20)	15 (15)	- (-)	- (-)	35 (35)	- (-)	- (-)
	人間福祉研究科	人間福祉専攻	7 (7)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (7)	- (-)	- (-)
	経営戦略研究科	先端マネジメント専攻	11 (11)	1 (1)	- (-)	- (-)	12 (12)	- (-)	- (-)
	計		310 (314)	64 (63)	4 (4)	0 (0)	378 (381)	0 (0)	19 (19)
博士課程後期課程 合計			316 (320)	65 (64)	4 (4)	0 (0)	385 (388)	0 (0)	19 (19)
既設	関西学院大学大学院 専門職学位課程								
	司法研究科	法務専攻	31 (31)	2 (2)	1 (1)	- (-)	34 (34)	- (-)	34 (34)
	経営戦略研究科	経営戦略専攻	12 (12)	9 (9)	- (-)	- (-)	21 (21)	- (-)	32 (32)
		会計専門職専攻	19 (19)	4 (4)	- (-)	- (-)	23 (23)	- (-)	41 (41)
	計		62 (62)	15 (15)	1 (1)	0 (0)	78 (78)	0 (0)	107 (107)
専門職学位課程 合計			62 (62)	15 (15)	1 (1)	0 (0)	78 (78)	0 (0)	107 (107)

平成20年4月
収容定員変更
届出済み

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		333 (333)	280 (280)	613 (613)					
	技 術 職 員		11 (11)	— (—)	11 (11)					
	図 書 館 専 門 職 員		30 (30)	14 (14)	44 (44)					
	そ の 他 の 職 員		11 (11)	14 (14)	25 (25)					
計		385 (385)	308 (308)	693 (693)						
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	聖和短期大学と共用				
	校 舎 敷 地	239,786 m ²	23,459 m ²	— m ²	263,245 m ²					
	運 動 場 用 地	268,629 m ²	9,298 m ²	— m ²	277,927 m ²					
	小 計	508,415 m ²	32,757 m ²	0 m ²	541,172 m ²					
	そ の 他	37,948 m ²	4,600 m ²	— m ²	42,548 m ²					
	合 計	546,363 m ²	37,357 m ²	0 m ²	583,720 m ²					
校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	聖和短期大学と共用					
	235,562 m ² (235,562 m ²)	20,724 m ² (20,724 m ²)	340 m ² (340 m ²)	256,626 m ² (256,626 m ²)						
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)					
専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数	室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
		〔 〕	〔 〕	〔 〕	()	()	()			
	計	〔 〕	〔 〕	〔 〕	()	()	()			
図 書 館	面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数						
	m ²	席		冊						
体 育 館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要								
	m ²									
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。	
		教員1人当り研究費等	1,554千円	1,445千円	図書購入費	12,000千円	16,800千円	10,800千円		
		共同研究費等	18,200千円	19,110千円	設備購入費	271,493千円	41,958千円	4,352千円		
	教育学専攻博士課程前期課程									
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,117千円	887千円	—千円	—千円	—千円	—千円			
	教育学専攻博士課程後期課程									
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,117千円	887千円	887千円	—千円	—千円	—千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、寄付金収入、補助金収入、資産運用収入、資産売却収入を充当する。						

大 学 の 名 称		関 西 学 院 大 学							
学 部 等 の 名 称	修 業 年 限	入 学 定 員	編 入 学 員 定 員	入 学 年 次 人	収 容 定 員	学 位 又 は 称 号	定 員 開 設 年 度	開 設 年 度	所 在 地
神学部	4	30	-	-	120	学 士 (神 学)	1.02	昭和27年	兵庫県西宮市 上ヶ原一番町 1番155号
文学部									同上
哲学科	4	-	-	-	-	学 士 (文 学)	-	昭和23年	H15年度より学 生募集停止 (文学部哲学 科、美学科、心 理学科、教育学 科、史学科、日 本文学科、英文 学科、フランス 文学科、ドイツ 文学科)
美学科	4	-	-	-	-	学 士 (文 学)	-	昭和27年	
心理学科	4	-	-	-	-	学 士 (文 学)	-	昭和23年	
教育学科	4	-	-	-	-	学 士 (文 学)	-	昭和23年	
史学科	4	-	-	-	-	学 士 (文 学)	-	昭和26年	
日本文学科	4	-	-	-	-	学 士 (文 学)	-	昭和23年	
英文学科	4	-	-	-	-	学 士 (文 学)	-	昭和23年	
フランス文学科	4	-	-	-	-	学 士 (文 学)	-	昭和38年	
ドイツ文学科	4	-	-	-	-	学 士 (文 学)	-	昭和34年	
文化歴史学科	4	275	-	1,100	-	学 士 (文 学)	1.03	平成15年	
総合心理科学科	4	175	-	700	-	学 士 (文 学)	0.99	平成15年	
文学言語学科	4	320	-	1,280	-	学 士 (文 学)	1.05	平成15年	
社会学部									
社会学科	4	475	-	1,900	-	学 士 (社 会 学)	1.07	昭和35年	H20年度より学 生募集停止(社 会学部社会福祉 学科) H20.4収容定員
社会福祉学科	4	-	-	-	-	学 士 (社 会 福 祉 学)	-	平成11年	
法学部									同上
法律学科	4	520	-	2,050	-	学 士 (法 学)	0.98	昭和23年	H20.4収容定員増
政治学科	4	160	-	580	-	学 士 (法 学)	1.02	昭和23年	H20.4収容定員増
経済学部	4	680	-	2,630	-	学 士 (経 済 学)	1.07	昭和23年	同上
商学部	4	650	-	2,600	-	学 士 (商 学)	1.06	昭和26年	H20.4収容定員増
理工学部									同上
物理学科							1.11	昭和36年	兵庫県三田市 学園2丁目1番 地
物理学専攻	4	75	-	300	-	学 士 (理 学)	1.07		
数学専攻	4	35	-	140	-	学 士 (理 学)	1.21		
化学科	4	75	-	300	-	学 士 (理 学)	1.04	昭和36年	
生命科学科	4	50	-	200	-	学 士 (生 命 科 学)	1.04	平成14年	
情報科学科	4	125	-	500	-	学 士 (情 報 科 学)	1.03	平成14年	
総合政策学部			3年次						同上
総合政策学科	4	360	50	1,540	-	学 士 (総 合 政 策)	1.05	平成7年	
メディア情報学科	4	120	-	480	-	学 士 (メ デ ィ ア 情 報)	1.04	平成14年	
人間福祉学部									兵庫県西宮市 上ヶ原一番町 1番155号
社会福祉学科	4	130	-	130	-	学 士 (社 会 福 祉 学)	0.97	平成20年	H20.4学部設置
社会起業学科	4	70	-	70	-	学 士 (社 会 起 業)	1.31	平成20年	
人間科学科	4	100	-	100	-	学 士 (人 間 科 学)	0.96	平成20年	

大学等の名称	関西学院大学							所在地
	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	定員過率	開年設	
博士課程 前期課程	年	人	年次人	人				兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
神学研究科 神学専攻	2	10	-	20	修士(神学)	0.85	昭和27年	H19年度より学生募集停止(文学研究科哲学専攻、美学専攻、心理学専攻、教育学専攻、日本史学専攻、西洋史学専攻、日本文学専攻、英文学専攻、フランス文学専攻、ドイツ文学専攻)
文学研究科 哲学専攻	2	-	-	-	修士(哲学)	-	昭和25年	
文学研究科 美学専攻	2	-	-	-	修士(美学)	-	昭和29年	
					修士(芸術学)			
					修士(心理学)	-	昭和25年	
					修士(教育学)	-	昭和27年	
					修士(教育心理学)			
					修士(学校教育学)			
					修士(歴史学)	-	昭和36年	
					修士(歴史学)	-	昭和29年	
					修士(地理学)			
					修士(文学)	-	昭和26年	
					修士(言語学)			
					修士(文学)	-	昭和25年	
					修士(言語学)			
					修士(文学)	-	昭和42年	
					修士(言語学)			
					修士(文学)	-	昭和38年	
					修士(言語学)			
					修士(哲学)	0.95	平成19年	
					修士(美学)			
					修士(芸術学)			
					修士(歴史学)			
					修士(地理学)			
					修士(心理学)	1.12	平成19年	
					修士(教育心理学)			
					修士(教育学)			
					修士(学校教育学)			
					修士(文学)	0.65	平成19年	
					修士(言語学)			
社会学研究科 社会学専攻	2	12	-	24	修士(社会学)	0.75	昭和36年	H20年度より学生募集停止(社会学研究科社会学専攻)
社会学研究科 社会福祉学専攻	2	-	-	-	修士(社会福祉学)	-	昭和36年	
法学研究科 法学・政治学専攻	2	45	-	90	修士(法学)	0.27	平成16年	
経済学研究科 経済学専攻	2	30	-	60	修士(経済学)	0.56	昭和25年	
商学研究科 商学専攻	2	30	-	60	修士(商学)	0.55	昭和28年	
					修士(経営学)			
					修士(会計学)			
					修士(マーケティング)			
					修士(ファイナンス)			
					修士(ビジネス情報)			
					修士(国際ビジネス)			
理工学研究科 物理学専攻	2	25	-	50	修士(理学)	0.88	昭和40年	兵庫県三田市学園2丁目1番地
					修士(工学)			
					修士(国際自然科学)			
					修士(理学)	0.72	昭和40年	
					修士(工学)			
					修士(国際自然科学)			
					修士(理学)	1.22	平成16年	
					修士(工学)			
					修士(国際自然科学)			
					修士(理学)	0.94	平成18年	
					修士(工学)			
総合政策研究科 総合政策専攻	2	50	-	100	修士(総合政策)	0.31	平成11年	同上
					修士(メディア情報)			
					修士(国際開発戦略)			
言語コミュニケーション文化研究科 言語コミュニケーション文化専攻	2	30	-	60	修士(言語科学)	0.91	平成13年	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
					修士(言語文化学)			
					修士(言語教育学)			
					修士(日本語教育学)			
人間福祉研究科 人間福祉専攻	2	8	-	16	修士(人間福祉)	1.00	平成20年	同上

大学等の名称	関西学院大学								所在地
	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年	設年度	
博士課程 後期課程	年	人	年次人	人					兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
神学研究科 神学専攻	3	2	-	6	博士（神学）	1.16	昭和29年		H19年度より学生募集停止（文学研究科哲学専攻、美学専攻、心理学専攻、教育学専攻、日本史学専攻、西洋史学専攻、日本文学専攻、英文学専攻、フランス文学専攻、ドイツ文学専攻）
文学研究科 哲学専攻	3	-	-	-	博士（哲学）	-	昭和29年	同上	
文学研究科 美学専攻	3	-	-	-	博士（美学）	-	昭和36年	同上	
心理学専攻	3	-	-	-	博士（芸術学）	-	昭和29年		
教育学専攻	3	-	-	-	博士（心理学）	-	昭和36年		
日本史学専攻	3	-	-	-	博士（教育学）	-	昭和36年		
西洋史学専攻	3	-	-	-	博士（教育心理学）	-			
日本史学専攻	3	-	-	-	博士（歴史学）	-	昭和38年		
西洋史学専攻	3	-	-	-	博士（歴史学）	-	昭和31年		
日本文学専攻	3	-	-	-	博士（地理学）	-			
日本文学専攻	3	-	-	-	博士（文学）	-	昭和29年		
日本文学専攻	3	-	-	-	博士（言語学）	-			
日本文学専攻	3	-	-	-	博士（文学）	-	昭和29年		
日本文学専攻	3	-	-	-	博士（言語学）	-			
日本文学専攻	3	-	-	-	博士（言語学）	-	昭和29年		
日本文学専攻	3	-	-	-	博士（言語学）	-			
日本文学専攻	3	-	-	-	博士（言語学）	-	昭和42年		
日本文学専攻	3	-	-	-	博士（言語学）	-			
日本文学専攻	3	-	-	-	博士（言語学）	-	昭和38年		
文化歴史学専攻	3	7	-	14	博士（哲学）	1.00	平成19年	H19.4研究科再編	
文化歴史学専攻					博士（美学）				
文化歴史学専攻					博士（芸術学）				
文化歴史学専攻					博士（歴史学）				
文化歴史学専攻					博士（地理学）				
総合心理科学専攻	3	6	-	12	博士（心理学）	0.83	平成19年		
総合心理科学専攻					博士（教育心理学）				
総合心理科学専攻					博士（教育学）				
文学言語学専攻	3	7	-	14	博士（文学）	1.07	平成19年		
文学言語学専攻					博士（言語学）				
社会学研究科 社会学専攻	3	4	-	12	博士（社会学）	0.66	昭和36年	同上	H20年度より学生募集停止（社会学研究科社会学専攻）
社会学研究科 社会学専攻	3	-	-	-	博士（社会学）	-	昭和53年	同上	
法学研究科 政治学専攻	3	2	-	6	博士（法学）	0.00	昭和34年	同上	
法学研究科 政治学専攻	3	2	-	6	博士（法学）	0.16	昭和29年	同上	
法学研究科 基礎法学専攻	3	2	-	6	博士（法学）	0.16	昭和29年	同上	
法学研究科 基礎法学専攻	3	2	-	6	博士（法学）	1.00	昭和38年	同上	
法学研究科 民刑事法学専攻	3	2	-	6	博士（法学）	1.00	昭和38年	同上	
経済学研究科 経済学専攻	3	3	-	9	博士（経済学）	1.10	昭和29年	同上	
商学研究科 商学専攻	3	10	-	30	博士（商学）	0.16	昭和36年	同上	
理工学研究科 物理学専攻	3	5	-	15	博士（理学）	0.26	昭和42年	兵庫県三田市学園2丁目1番地	H18.4収容定員増
理工学研究科 物理学専攻					博士（工学）				
理工学研究科 物理学専攻	3	6	-	18	博士（理学）	0.60	昭和42年		
理工学研究科 物理学専攻					博士（工学）				
理工学研究科 物理学専攻	3	5	-	15	博士（理学）	0.26	平成18年		H18.4課程設置
理工学研究科 物理学専攻					博士（工学）				
理工学研究科 物理学専攻	3	3	-	9	博士（理学）	0.77	平成18年		H18.4専攻設置
理工学研究科 物理学専攻					博士（工学）				
総合政策研究科 総合政策専攻	3	5	-	15	博士（総合政策）	0.26	平成13年	同上	
言語コミュニケーション文化研究科 言語コミュニケーション文化専攻	3	3	-	9	博士（言語コミュニケーション文化）	1.22	平成15年	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号	
人間福祉研究科								同上	H20.4研究科設置
人間福祉研究科 人間福祉専攻	3	5	-	15	博士（人間福祉）	0.60	平成20年	同上	1～3年次同時開設
経営戦略研究科								同上	H20.4専攻設置
経営戦略研究科 先端マネジメント専攻	3	4	-	4	博士（先端マネジメント）	1.50	平成20年	同上	

既設大学等の状況	大 学 の 名 称	関 西 学 院 大 学							
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	入学者数	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開 設 年 度	所 在 地
既設大学等の状況	専門職学位課程								
	司法研究科 法務専攻	3	125	-	375	法務博士(専門職)	0.96	平成16年	兵庫県西宮市 上ヶ原一番町 1番155号
	経営戦略研究科 経営戦略専攻	2	100	-	200	経営管理修士(専門職)	0.73	平成17年	大阪府大阪市 北区茶屋町19 番19号アポ ーズ 7F-14階
	会計専門職専攻	2	100	-	200	会計修士(専門職)	0.90	平成17年	兵庫県西宮市 上ヶ原一番町 1番155号
	附属施設の概要	特になし							

2009(平成21)年4月関西学院大学改編状況

2008(平成20)年4月

2009(平成21)年4月

学部	学科	専攻	入学定員	編入定員	収容定員	学位
神学部			30		120	学士(神学)
文学部	文化歴史学科		275		1,100	学士(文学)
	総合心理科学科		175		700	学士(文学)
	文学言語学科		320		1,280	学士(文学)
社会学部	社会学科		475		1,900	学士(社会学)
法学部	法律学科		520		2,080	学士(法学)
	政治学科		160		640	学士(法学)
経済学部			680		2,720	学士(経済学)
商学部			650		2,600	学士(商学)
理工学部	物理学科	数学専攻	35		140	学士(理学)
		物理学専攻	75		300	学士(理学)
	化学科		75		300	学士(理学)
		生命科学科		50	200	学士(生命科学)
情報科学科		125		500	学士(情報科学)	
総合政策学部	総合政策学科		360	50	1,540	学士(総合政策)
		メディア情報学科	120		480	学士(メディア情報)
	社会学科		130		520	学士(社会学)
人間福祉学部	社会起業学科		70		280	学士(社会起業)
	人間科学科		100		400	学士(人間科学)
小計			4,425	50	17,800	
合計			4,425	50	17,800	

学部	学科	専攻	入学定員	編入定員	収容定員	学位
神学部			30		120	学士(神学)
文学部	文化歴史学科		275		1,100	学士(文学)
	総合心理科学科		175		700	学士(文学)
	文学言語学科		320		1,280	学士(文学)
社会学部	社会学科		650		2,600	学士(社会学)
法学部	法律学科		520		2,080	学士(法学)
	政治学科		160		640	学士(法学)
経済学部			680		2,720	学士(経済学)
商学部			650		2,600	学士(商学)
理工学部	数理科学科		75		300	学士(理学)
		物理学科	75		300	学士(理学)
	化学科		75		300	学士(理学)
		生命科学科		40	160	学士(生命科学)
情報科学科	生命医化学専攻		40	160	学士(生命科学)	
	情報科学科		75	300	学士(情報科学)	
	人間システム工学科		80	320	学士(工学)	
総合政策学部	総合政策学科		240	35	1,030	学士(総合政策)
		メディア情報学科	120		480	学士(総合政策)
	都市政策学科		100		400	学士(総合政策)
国際政策学科		120	15	510	学士(総合政策)	
社会学科		130		520	学士(社会学)	
人間福祉学部	社会起業学科		70		280	学士(社会起業)
	人間科学科		100		400	学士(人間科学)
小計			4,800	50	19,300	
教育学部	幼児・初等教育学科		280	5	1,130	学士(教育学)
	臨床教育学科		70		280	学士(教育学)
合計			5,150	55	20,710	

学校法人 関西学院 建設計画 スケジュール

2008年4月1日現在

	08年			09年			10年			11年			12年			
	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月
西宮 西宮上ヶ原キャンパス	G号館増築工事			計画・申請				建設工事								
	高中部改築工事			計画・申請				建設工事					建設工事			改修工事
	硬式テニスコート・ サッカー場移設工事			造成工事												
	山川記念館（仮称）新築工事			計画・申請				建設工事								
西宮校 聖和キャンパス （09年4月聖和大学と合併）	図書館改修工事			改修工事												
	各棟改修工事															改修工事
神戸三田キャンパス	KSC共用棟新設工事			建設工事中												
	V号館新築工事			計画・申請				建設工事								
	総合政策実験棟新築工事			計画・申請				建設工事								
	Ⅲ号館改修工事															改修工事
	Ⅳ号館改修工事															改修工事

様式第2号 (その2)

教育課程等の概要															
(教育学研究科 教育学専攻 博士課程前期課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
幼児教育学領域科目	キリスト教教育学特殊講義	1・2 春		2		○								兼1	
	幼児教育学理論特殊講義A	1・2 春		2		○			1						
	幼児教育学理論特殊講義B	1・2 秋		2		○			1						
	幼児教育心理学特殊講義A	1・2 春		2		○			1						
	幼児教育心理学特殊講義B	1・2 秋		2		○				1					
	幼児教育学内容特殊講義A	1・2 春		2		○			1	1					
	幼児教育学内容特殊講義B	1・2 秋		2		○			1						
	発達臨床学特殊講義A	1・2 秋		2		○								兼1	隔年開講
	発達臨床学特殊講義B	2 秋		2		○								兼1	隔年開講
	教育心理学特殊講義	1・2 秋		2		○								兼1	
	教育学特殊講義	1・2 秋		2		○								兼2	
	教育統計研究法	1・2 秋		2		○								兼1	
	幼児教育思想史研究	1・2 秋		2		○								兼1	
	幼児教育学研究 (国語)	2 春		2		○			1						隔年開講
	幼児教育学研究 (算数)	1・2 春		2		○			1						隔年開講
	幼児教育学研究 (生活)	2 春		2		○			1						隔年開講
	幼児教育学研究 (音楽)	2 春		2		○				1					隔年開講
	幼児教育学研究 (造形)	1・2 春		2		○			2						隔年開講
	幼児教育学研究 (健康)	2 秋		2		○								兼1	隔年開講
	幼児教育学研究 (遊び)	1・2 秋		2		○				1					隔年開講
	幼児教育学研究 (絵本論)	1・2 春		2		○								兼1	
小計 (21科目)		—	0	42	0				7	2	0	0	0	9	—
臨床教育学領域科目	教育人間学特殊講義A	1・2 春		2		○			1						
	教育人間学特殊講義B	1・2 秋		2		○			1						
	教育方法学特殊講義A	1・2 春		2		○			1						
	教育方法学特殊講義B	1・2 秋		2		○			1						
	教育社会学特殊講義A	1・2 春		2		○			1						
	教育社会学特殊講義B	1・2 秋		2		○			1						
	臨床教育学特殊講義A	1・2 春		2		○				1					
	臨床教育学特殊講義B	1・2 春		2		○				1					
	臨床教育学特殊講義C	1・2 春		2		○								兼1	
	臨床教育学特殊講義D	1・2 秋		2		○				1					
	臨床教育学特殊講義E	1・2 秋		2		○				1					
臨床教育学特殊講義F	1・2 秋		2		○								兼1		
小計 (12科目)		—	0	24	0				3	2	0	0	0	2	—
研究科目	幼児教育学研究演習	1 春		2			○		3	1					
	幼児教育学研究演習	1 秋		2			○		3	1					
	幼児教育学研究演習	2 春		2			○		3	1					
	幼児教育学研究演習	2 秋		2			○		3	1					
	臨床教育学研究演習	1 春		2			○		4						
	臨床教育学研究演習	1 秋		2			○		4						
	臨床教育学研究演習	2 春		2			○		4						
臨床教育学研究演習	2 秋		2			○		4							
小計 (8科目)		—	0	16	0				7	1	0	0	0	0	—
合計 (41科目)			—	0	82	0			11	4	0	0	0	11	—
学位又は称号	修士 (教育学)			学位又は学科の分野				教育学・保育学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
履修については、各年度開始時に履修説明会を開き、研究指導教員の指導のもとで履修科目を決める。 修了要件は、本課程に2年以上在籍し、研究演習8単位と選択科目24単位以上の合計32単位以上を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格することとする。								1 学年の学期区分			2 学期				
								1 学期の授業期間			15週				
								1 時限の授業時間			90分				

様式第2号（その2）

教育課程等の概要														
(教育学研究科 教育学専攻 博士課程後期課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科目	研究演習	1 春	2				○		6	1				
	研究演習	1 秋	2				○		6	1				
	研究演習	2 春	2				○		6	1				
	研究演習	2 秋	2				○		6	1				
	研究演習	3 春	2				○		6	1				
	研究演習	3 秋	2				○		6	1				
	小計 (6科目)		—	12	0	0		—	6	1	0	0	0	0
合計 (6科目)		—	12	0	0		—	6	1	0	0	0	0	—
学位又は称号	博士 (教育学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
履修については、各年度開始時に履修説明会を開き、研究指導教員の指導のもとで履修科目を決める。また、博士学位取得のプロセスについては、学会発表、査読付き論文、学内における発表会での発表など、博士学位論文作成までの義務を明確にし、それらの課題を達成したのちに、論文提出資格を与える。 修了要件は、本課程に3年以上在籍し、研究演習12単位を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格することとする。						1 学年の学期区分				2学期				
						1 学期の授業期間				15週				
						1 時限の授業時間				90分				

様式第2号(その3)

授 業 科 目 の 概 要			
(教育学研究科 教育学専攻 博士課程前期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
幼児教育学領域科目	キリスト教教育学特殊講義	キリスト教教育とは何かを明らかにするために、聖書に描き出されている人間理解・子ども理解や、実践神学における教育の捉え方、キリスト教における共同性と個のあり方、宗教性やスピリチュアリティの成長などのテーマに照らして、講義する。その理解にたった上で、今日の日本におけるキリスト教教育、保育が目指すもの、内容、方法について、歴史的概観を加えながら検討し、キリスト教教育が一般教育、保育、現代社会の課題に対して持つ意義について考察する。	
	幼児教育学理論特殊講義A	乳幼児教育の基本概念を明らかにするとともに、近代幼児教育の発展に貢献した先覚者の子ども観や教育理論について考察する。フリードリッヒ・フレーベルの理論を中心に宇宙規模からとらえた人間教育、特に「フレーベル固有の哲学思想・理論」や「子ども観」さらに遊具としての「恩物」の理論を学ぶことにより、保育の理論をより確かなものにし、保育現場の実践例を結びつけながら、理論と実践の一致を目指す。毎回授業の前半は講義を行い、後半は実践例を提示し理論と実践を結びつけることを心がける。	
	幼児教育学理論特殊講義B	マリア・モンテッソーリは実証主義的な観点から教育問題を取り扱い、子どもの観察に基礎を置き、生理学・心理学の面からの分析と哲学的思索の上に適切な教育法を編み出した。女史の「教育の原点である“生命の教育”」から始まり「教育の基本原則」「教育の構造」「教育の諸要素」「教材・教具」「保育者の役割」「環境の重視」「自由の意味」等を学ぶことにより、保育の理論をより確かなものにし、保育現場の実践例と結びつけながら、理論と実践の一致を目指す。毎回授業の前半は講義を行い、後半は実践例を提示し理論と実践を結びつけることを心がける。	
	幼児教育心理学特殊講義A	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程についての知識を習得し、障害のある子どもの発達及び学習の過程についても学ぶことを目標とする。幼児教育心理学研究法、幼児教育心理学の理論的立場、身体運動機能の発達、知的発達、情緒の発達、社会性の発達及び学習の過程について講義する。	
	幼児教育心理学特殊講義B	乳幼児期を中心とした発達と学習に関する理論と研究について学び、ピアジェの構成論の視点から乳幼児期の知的発達、社会道徳的発達についての理解を深め、乳幼児期の指導のあり方を考える。幼児教育を考える上で重要な発達や学習に関する理論と研究について近年の動向を追いながら学ぶ。特に知的発達と社会道徳的発達を中心に、ピアジェの構成論の視点から乳幼児期の発達と学習についての理解を深め、乳幼児期における指導のあり方を考える。	
	幼児教育学内容特殊講義A	(概要) 保育内容の歴史の変遷を概観すると共に、現在の「幼稚園教育要領」と「保育所保育指針」を基本とし、保育の内容を構造的に捉える。また、乳幼児の発達を理解したうえで保育内容を計画し、環境設定や保育者の援助等がどうあるべきか研究を深める。さらに、幼稚園の参観も取り入れ、保育内容の相互関連性について討議し、理論と実践の一致を目指す。 (オムニバス方式/全15回) (島田ミチコ/7回) 保育内容の歴史の変遷、幼稚園教育要領と保育所保育指針、保育内容を考えるときの基本、幼児をとりまく環境と保育内容、保育内容と計画・援助等の「保育内容」に関する部分を担当する。 (橋本 祐子/7回) 主な発達理論、ピアジェの構成論、幼児の生活・遊び・活動とその展開、保育現場における子どもの姿、子ども理解、遊びを通しての総合指導等の「子ども理解・発達」に関する部分を担当する。 (島田ミチコ、橋本 祐子/1回) まとめとして保育をとりまく今後の課題に関する部分を二人で担当する。	オムニバス方式

様式第2号(その3)

授 業 科 目 の 概 要			
(教育学研究科 教育学専攻 博士課程前期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
幼児教育学領域科目	幼児教育学内容特殊講義B	保育者の子ども観は、保育者の援助に反映する。授業では、子どもの生活、人間関係を見る「視点」としての発達観に注目し、社会文化的発達論（社会的構成主義に基づく発達論）と子どもを見る視点について、外国の2つの保育実践を基に学ぶ。また、自分の子ども観を省みつつ、わが国の保育における子ども観と子どもの人間関係に関する保育者の援助の現状と課題について、実際の子どもの園生活に即して考察する。これらの学習を通して、保育者の専門性を深め、保育の質を高める意義について理解を深める。	
	発達臨床学特殊講義A	こころの原点として胎児のこころの発生、新生児にみる主体性・自発性の諸現象、それらを保障し方向づける母子関係・友だち関係・保育者との関係・その他の対人関係の場、およびこれらを促進する心的エネルギーの実際について検討する。そして、これが乳児期・幼児期（幼児前期・幼児後期）・児童期（低学年・中学年・高学年）でどのように成長・発達してくるかについて、発達臨床学的に究明する。	隔年開講（平成21年度開講）
	発達臨床学特殊講義B	子どもの成長・発達の諸事情から、その方向性・内容に問題をもつ事例、たとえば発達の遅れ・高機能自閉症・ADHD・LD、さらに協調運動・心身問題・ことばの問題・社会行動などの実例を中心に講述する。また、乳幼児を対象とする発達検査・心理検査や初期面接時の心理アセスメント（心理診断・心理査定など）、助言、指導や心理療法について、実践とディスカッションにより臨床発達学的に理解を深める。	隔年開講（平成22年度開講）
	教育心理学特殊講義	学校における指導や支援を行う際に必要とされる、子どもの発達や学習に関わる要因、指導方法、またいじめや不登校といった諸問題について講義する。特に子どもの発達・学習のメカニズムや学力形成と自立への課題、教育評価の機能などについて、心理学研究から得られた事実と理論に基づいて論じる。また、子ども理解や指導方法の改善に向けての基本的なデータ管理のスキーマ、ワーキングメモリー、メタ認知、他者の心の理解、無気力と自己有能観、能力の発達、子育てストレスといった諸問題について認知発達心理学の観点から理解を深める。	
	教育学特殊講義	戦後の幼稚園教育要領の変遷を見ると、幼児教育に対する考え方が時代と共に大きく変化してきている。たとえば子ども観や子ども理解、それに基づくカリキュラム編成の考え方などである。そこで、本講義では現代の子どもの実態を観察し、子ども理解を深めた上で、幼児教育の理論構築を再検討し、保育現場におけるカリキュラム編成方法論を展開する。さらに、幼少連携、幼保一元化、認定こども園など国の対策も著しい為、子ども・学校（幼稚園）・社会という三者の関係を、教育社会学の視点から、歴史的・理論的に把握し、教育の位置づけを明らかにしていく。	平成21年度担当 富江英俊 平成22年度以降担当 玉置哲淳
	教育統計研究法	教育学の修士論文において、統計の数値データを扱う機会が多いが、なぜ統計が必要なのか、教育統計法の理論や調査方法等を講義し、数量化と統計的考え方の必要性について理解を深める。既存の教育統計資料を用いて、あるいは自らの研究実地調査資料を基に、現状把握、問題解決、仮説検証、または、理論構築を行う。特に分散分析法や多変量解析法に重点をおいた講義を行い、直面する問題に対して必要なデータの収集法や適切な分析手法の選択とその適用が出来る能力の習得を目指す。	
	幼児教育思想史研究	アメリカにおける子どもの歴史をたどる。幼児の実態または幼児教育実践に関する重要な史料を読みながら、植民地時代から20世紀の児童中心教育にいたるまでの子ども観の変遷を確認する。アメリカには、子どもの原罪を強調する思想から、無垢なる子ども（子ども中心主義）を強調する思想まで、多様な子ども観が存在したことを史料で確認する。後半では、進歩主義の幼稚園における幼児教育の実践史料をできるだけ多く講読する。	

様式第2号(その3)

授 業 科 目 の 概 要			
(教育学研究科 教育学専攻 博士課程前期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
幼児教育学領域科目	幼児教育学研究 (国語)	「文学に描かれた子ども時代」を題材にして、子どもがことばを獲得していく過程、子どもを取り巻く環境、子どもが直面する問題などを読み取り、それらがどのように描かれているかを考察する。具体的には、作家たちが記した自身の子ども時代や児童文学に描かれた子どもの世界を精読する。さらに、それぞれの表現を分析し、検討することによって、「正確に」、「適切に」、「豊かに」表現することの大切さを学ぶ。	隔年開講 (平成22年度開講)
	幼児教育学研究 (算数)	知識とは何か、人間は知識をどのように獲得していくかといった子どもの思考発達と数の教育の問題を構成主義に代表されるピアジェの認知発達論の立場から考察する。	隔年開講 (平成21年度開講)
	幼児教育学研究 (生活)	幼児が日常生活を通して身近な自然や環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活にとり入れていこうとする力を養い、生きる力の基礎を培うことの重要性について学ぶ。また、幼児や児童のさまざまな生活の実態について理解を深めるとともに、幼児への援助や指導の仕方について学ぶ。幼稚園教育要領の「環境」に掲げられているねらいや内容について考察するとともに、幼児が身近な自然をどのように捉えているのか、テキストや資料で調べてレポートにまとめる。また、身近なものを使っておもちゃを作ったり遊んだりする活動例を通して、幼児への援助や指導の仕方について考察する。	隔年開講 (平成22年度開講)
	幼児教育学研究 (音楽)	音楽が果たす役割の重要性を認識し、幼児の音楽性の発達をおさえて、音楽活動が充実するような援助と指導のあり方、および幼児音楽教育の方法を探究することを目標とする。講義を中心に分担発表、討議を行う。幼稚園教育要領における感性と表現に関する領域「表現」と音楽的発達の理解を深め、幼児に適した援助と指導の方法を習得する。また、音楽教育方法論および本学で行われてきた保育、教育の一環としての音楽教育とその歴史を学び、音楽的な表現活動が楽しく意義深いものとなるよう幼児に即した音楽教育のあり方を探究し、保育者に必要な理論と現場で実践できる応用力を養う。	隔年開講 (平成22年度開講)
	幼児教育学研究 (造形)	造形活動を理論と実践から、複層的に学ぶ。造形活動の必要性につき、討論を基本に実践を交えながらおこなう。理論では、造形活動と幼児、児童の発達成長の関係をテーマとし、それを研究する形で進める。実践は、作ることによって材料研究を進める観点から、素材研究、制作、考察、討論、発表を基本に進める。 (オムニバス方式/全15回) (清原 知二/7回) 造形の活動の必要性、平面、立体、雑材活動の問題点、今までの幼児の造形活動の問題点、今日的な幼児の造形活動の理解等を主に理論的内容について検討する。 (中西 茂幸) / 7回) 素材の基本的理解の方法を知ること目標とする。素材の使い方の応用・展開には、どのような方法・技術・体験が必要であるか、また、平面・立体造形(紙・木・布・粘土等)の材料理解と扱い方の応用を、実践を交えながら考察し、論理的整理を行う。 (中西 茂幸・清原 知二/1回) 授業のまとめは、二人で担当する。	オムニバス方式 隔年開講 (平成21年度開講)
	幼児教育学研究 (健康)	次の3つをテーマとする。1. 健康の概念について理解し、乳幼児にとって望ましい健康生活のあり方について検討する。2. 乳幼児の健康を取り巻く母子保健とその福祉行政を理解する。3. 現代の母子保健のあり方についての課題を検討する。具体的には、乳幼児の健康、育ちの現状を理解し、その望ましい姿について考察するとともに、それを支えていくための方略について検討する。現代の乳幼児と母親・育児の諸問題を取り上げて、文献を読みながら討議をする。	隔年開講 (平成22年度開講)

様式第2号(その3)

授 業 科 目 の 概 要			
(教育学研究科 教育学専攻 博士課程前期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
幼児教育学領域科目	幼児教育学研究(遊び)	幼児期の遊びの発達の特徴やプロセスを理解し、発達を促すための保育内容と援助のあり方を考察する。また、構成論の視点から幼児の遊びの発達と指導についての理解を深める。遊びに関する理論や研究を踏まえ、幼児の遊びの発達の特徴やプロセスを理解し、発達を促す視点から保育内容や指導について考える。特に、幼児の遊びを発達や学習という視点からとらえる1つのアプローチとしてピアジェの構成論について学び、遊びの種類や場面ごとに幼児の遊びの発達と指導について理解を深める。	隔年開講(平成21年度開講)
	幼児教育学研究(絵本論)	大人と子どもが共に絵本の扉をひらき、大人が心を込めて子ども達に絵本を読むことにより、大人は子どもたちに生きることの喜びや意味を伝えることができる。絵本というマテリアルは、多様な読み取りが可能である。とりわけ、子どもを主人公としている絵本を、言葉と絵と物語(表紙から裏表紙までの展開を通して)を丁寧に読み取り、分析することで、子どもの心理を理解することが出来る。子どもが自分の荒れ狂う感情(怒り・悲しみ・恐怖など)と如何に折り合いをつけ、生きる力を身に付けていくかを、絵本の中で考察していく。	
臨床教育学領域科目	教育人間学特殊講義A	この講義を通して、プラトンの教育思想は、エリート教育であり、全体主義的な面がある反面、その独特の世界観、国家観、人間観、教育観、愛の思想は、それだけでは収まらない希有壮大なものであることを感得させるとともに、プラトンの思想が西欧の思想や文化の基礎になっていることを解説し、欧米の教育思想の理解と現代日本の教育を考える手がかりにする。	
	教育人間学特殊講義B	この講義を通して、J.デューイの社会心理学的なプラグマティズムの思想を理解させるとともに、生活主義、経験主義に基づく児童中心主義教育について理解を深めるとともに、現在行われている生活科や総合的な学習の時間との関連や課題を解説し、議論する。また、及川平治や木下竹次などの大正自由教育の担い手たちの教育実践とも比較対照して論じる。	
	教育方法学特殊講義A	現代教育の展望と課題を、学校教育を中心に、家庭、地域との連携を視野に入れつつ、教育方法学の立場から論じる。教育実践の紹介を具体的に行うとともに、従来の研究枠組みを批判的に吟味しながら理論と実践の統合を目指した新たな教育学研究のあり方を探る。本講義ではカリキュラム構成・開発論を中心に、これまでのカリキュラム構成・開発を歴史的、現代的アプローチとして4類型化し、それぞれの教育思想、教育的価値、社会観・世界観との関連でその意義を論究する。	
	教育方法学特殊講義B	カリキュラム構成・開発における4つのアプローチは理論的枠組だけで提起されたものではなく、教育実践やカリキュラム行政にも反映してきた。本講義では、「教育方法学特殊講義A」の内容を受けて、実践的具体化の視点から、それぞれのアプローチにおける実践上のカリキュラム構成・開発を指導案や実践報告から取り上げ、教育実践の中で教師がどのような具体的問題や課題に直面しているか、またどのような点にその意義を見出しているかを理解し、解決方向を臨床教育学の視点から検討する。	
	教育社会学特殊講義A	教育現象を社会的に解明する教育社会学の方法論的な独自性の検討をベースにしつつ、この研究領域の個別テーマについて、文献講読、ディスカッション等の方法を交えながら講義する。本講義では、発達の社会学に関わるテーマを取り上げる。子どもの発達を、社会化の過程としてとらえる教育社会学の基本的な視点を基礎に、家族集団や仲間集団における子どものパーソナリティ形成、日本の文化との関連性、家庭と学校の連携の問題などのテーマについて、教育社会学研究におけるミクロなアプローチとの関連で検討する。	

様式第2号(その3)

授 業 科 目 の 概 要			
(教育学研究科 教育学専攻 博士課程前期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
臨床教育学領域科目	教育社会学特殊講義 B	教育現象を社会的に解明する教育社会学の方法論的な独自性の検討をベースにしつつ、この研究領域の個別テーマについて、文献講読、ディスカッション等の方法を交えながら講義する。本講義では、学校の社会学、教育体制の社会学に関わるテーマを取り上げる。学校の社会学に関わるテーマとして、学校の特質と機能、日本の学校と教師、現代における学校の変貌と教育問題などを取り上げ、教育体制の社会学に関わるテーマとして、階層と教育、社会移動と教育、学歴社会の問題などを取り上げ、量的研究と質的研究との連携を視野に入れつつ検討する。	
	臨床教育学特殊講義 A	社会の変化と子どもの育ちの変化にともなう幼稚園、小・中学校で起こっている諸問題の実際について、各種報告書・文献・報道記事・事例等からテーマ別に講義する。また、幼稚園、小・中学校における次のような具体的事例をとおしてのケーススタディを行う。 ・近年の学校現場における問題行動の実態 ・社会状況の変化による家庭や地域の教育力の低下 ・小1プロブレム改善のための幼稚園教育と小学校教育との接続 ・小・中学校における問題行動の実際 ・軽度発達障害と特別支援教育 ・幼稚園、小・中・高等学校をとおした発達	
	臨床教育学特殊講義 B	特別支援教育は、従来からの障害児教育に加えて、通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とするすべての児童生徒に関わるものであり、教育にかかわる者にとってこの特別支援教育についての理解は必須といえる。そこで本授業では、特別支援教育の基本的事項についての理解を深めるため、特別支援教育の時代的背景や制度・法令等にも触れながら、特別支援学校や幼稚園及び小・中学校の通常学級での特別支援教育の実際について、視聴覚教材等を提示しながら解説し、今後の特別支援教育の在り方を検討する。	
	臨床教育学特殊講義 C	この講義では、学校現場で見られる臨床的問題（不登校、いじめ、発達障害等）に対する支援方法について、主に応用行動分析学、行動療法、認知行動療法といった行動論的アプローチに基づく支援方法を紹介し考察を深めていく。また、教員支援のためのコンサルテーションのあり方についても検討していく。必要に応じて事例も紹介しながら、主に講義形式で進めていく。なお、テーマによっては内容に関する討議を行わせる。	
	臨床教育学特殊講義 D	幼児に対するさまざまな虐待の実際や近年の幼稚園、小・中学校で起こっている変革の実際について、各種報告書・文献・報道記事・事例等からテーマ別に講義する。また、幼稚園、小・中学校における次のような具体的事例をとおしてケーススタディを行う。 ・幼児期における虐待・ネグレスト等の諸問題 ・学校事故と学校事件 ・心の教育について ・メンタルヘルスケアについて	
	臨床教育学特殊講義 E	LD、ADHD、高機能自閉症、アスペルガー症候群など軽度発達障害についての理解を深めるために、定義や心理・行動特性といった基礎的な事項についての講義を行う。次にそれぞれの障害について講義を行ったあとの授業では、指導者が文献等から典型的な症例を提示する。受講生はグループごとにその症例についての事例研究を行い、問題点を整理しながら具体的な支援の在り方や支援体制について検討した結果を発表する。その後全体で症例について協議を行いまとめとする。	

様式第2号(その3)

授 業 科 目 の 概 要			
(教育学研究科 教育学専攻 博士課程前期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
臨床教育学領域科目	臨床教育学特殊講義F	次の3点を目標とする。①発達障害の基礎知識と教育的支援方法に関する最新の基礎知識を習得する。②幼児、児童、生徒の行動問題の機能的アセスメント計画を作成できるようにする。③臨床教育におけるコンサルテーションの役割と方法を学ぶ。特別支援を必要とする幼児、児童、生徒のアセスメントと支援方法について講義する。データに基づくアセスメントと教育的支援を重視し、エビデンスに基づく支援方法とは何かについて解説する。	
研究科目	幼児教育学研究演習	<p>(概要)</p> <p>この授業は、修士論文作成のための指導を行う。各自の研究テーマに添った研究成果を発表し、それについて討議・指導を行う。文献や資料の収集、論文の構成や内容の構想、文章やスタイルなどの諸項目について指導を行う。また、研究者や保育現場等の指導者として、自覚の一層の深化を目指す。各教員の専門性を生かした指導を行う。</p> <p>(島田ミチコ)</p> <p>幼児教育・保育学に関連する研究テーマを探求する。主に幼稚園や保育所におけるカリキュラムや保育内容・保育方法を中心に研究することを目的とする。幼児の豊かな感性を育て、創造性豊かな資質を養うための刺激や援助及び環境について指導する。幼児教育の基礎的理論として教育思想や教育方法論などを歴史的におさえるとともに、実践研究に注目し、保育参観やフィールドワークも加えつつ、子どもの実態に迫りながら研究の構築を目指す。</p> <p>(武田 俊昭)</p> <p>幼児教育心理学に関連する研究テーマを探求する。子どもの知的発達、情動の発達、社会性の発達、身体・運動機能の発達、4つの発達を基礎に、教育・保育との関係づけから研究することを目的とする。「知識とは何か」、「人間はどのように知識を獲得していくのか」、「子どもはどのように考えるのか」、「発達段階が異なると子どもはどのように異なった考え方をするのか」という問題を子どもの思考の発達、特に数概念の形成過程とその指導の立場から研究を進める。</p> <p>(日浦 直美)</p> <p>幼児教育・保育学(社会学・比較教育学)に関連する研究テーマを探求する。保育という営みに参加している人々の人間関係に焦点を当て、子どもたちの多様性を尊重する保育内容や保育者の専門性について、地域・社会・世界との関係から研究を深めていく。主な研究課題は(1)多文化社会における多様性を尊重する保育の内容・方法(2)特に人、社会とのかかわりに関する保育者の専門性(子育て支援、子ども虐待、保育者としての成長・生活など)である。</p> <p>(橋本 祐子)</p> <p>乳幼児の心の発達と保育に関連する研究テーマを探求する。乳幼児期の心の発達に関する研究と保育の理論および実践との関連について研究する。特に、カミイとデヴリーズによるピアジェの構成論に基づく教育について学び、その視点から子どもの心の発達のプロセスをどのように解明できるのか、発達を促す教育実践はどうあるべきなのかを探求する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(教育学研究科 教育学専攻 博士課程前期課程)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究 科目	臨床教育学研究演習	<p>(概要) 各自の研究テーマに添った研究成果を発表し、それについて全員で議論し、これに適宜、指導を加える。この作業によって調査能力、纏める力、発表能力、そしてテーマの内容を見極めて良い点や課題を指摘して実質的な議論をする力を養うとともに、他の学生のテーマと課題を共有しつつ、修士論文執筆に向けた指導をする。</p> <p>(金丸 晃二) 教育方法学に関連する研究テーマを探求する。受講生は、各自の研究テーマに関連した文献や学位論文の研究成果を報告し、それを受講生全員で討論する。具体的内容として、カリキュラム構成・開発に関する一般理論、学力、教育方法・授業研究に関する問題、教育評価に関する理論や実践の問題などである。1年次は基本的文献の講読を中心に進め、2年次は学生による発表を重ねるとともに、修士論文執筆について具体的な指導をする。</p> <p>(佐々木正昭) 教育人間学・臨床教育学に関連したテーマを探求する。具体的には、子どもの問題行動や非行などについての現状と対応、学級集団の形成方法、学校行事や部(クラブ)活動の教育人間学的・臨床教育的考察を主題とする。受講生は、各自の研究テーマに関連した文献や学位論文についての研究成果を発表し、それを受講生全員で討論することで、内容の理解を深める。1年次は基本文献の講読と、アンケートを実施する場合には、その準備をさせる。2年次には、アンケートの実施と集計の方法の指導と学生による研究成果の発表を重ねて、修士論文執筆について具体的な指導をする。</p> <p>(芝田 正夫) メディアと教育に関連する研究テーマを探求する。具体的には、電子的なメディアと子どもとの関わり、新しいメディアの教育活動での活用の実際、言論の自由と子どもの教育との関わり、メディア・リテラシーなど実際の教育現場での実践、などを取り上げる。1年次は基本文献の講読を中心に進め、2年次は学生による発表を重ねるとともに、修士論文執筆について具体的な指導をする。</p> <p>(清矢 良崇) 教育社会学に関連する研究テーマを探求する。具体的には、会話分析を中心としたミクロな社会化研究の現状と課題、さらには教育臨床研究への応用可能性について検討する。1年次は基本文献の講読を中心に進め、2年次は学生による発表を重ねるとともに、修士論文執筆について具体的に指導する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(教育学研究科 教育学専攻 博士課程後期課程)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究 科目	研究演習	<p>(概要) 各自の研究テーマに添った研究成果を発表し、それについて全員で討議し、これに適宜、指導を行う。主論文作成にいたるまでの学会発表、投稿論文(審査付論文)作成等を含めて段階的に指導を行い、博士論文の完成を目指す。</p> <p>(金丸晃二) 教育方法学に関わる、受講生各自の研究テーマについて、国内外の文献研究の報告、学位論文の研究成果の報告により研究を深化させる。具体的には、新しい教育課題に沿ったカリキュラム構成・開発の問題、学力に関わる問題、教育方法、授業研究の理論や実践的成果に関わる問題、教育評価の理論や実践の問題などである。第一段階として国内の先行研究となる基本的文献をおさえ、次に外国の先行研究となる文献の研究へと発展させ、自己の独自性のある研究へ方向づける。</p> <p>(佐々木正昭) 教育人間学・臨床教育学に関連したテーマを探求する。具体的には、子どもの問題行動や非行などについての現状と対応を主題として、これに関連して、しつけや体罰、子どもの居場所づくりと学級集団の形成、学校行事や部(クラブ)活動の意義とありかたを教育人間学的・臨床教育学的に研究する。受講生は、各自の研究テーマに関連した文献や学位論文の研究成果を発表し、それを受講生全員で討議することで、内容の理解を深める。第1段階では、基本文献の講読とアンケートを実施する場合には、その準備をさせる。第2段階では、アンケートの実施と集計の方法の指導と学生による研究成果の発表を重ねて、博士論文執筆についての具体的な指導を通して、独創的な博士論文の完成を目指す。</p> <p>(島田ミチコ) 幼児教育学・保育学(幼児教育思想・カリキュラム・保育内容・保育方法等)に関する各自の研究テーマに添って課題を探求していく。具体的には、幼児教育に関する教育思想や教育観、子ども観等を歴史的に概観し、学生自身の教育観・保育観を確立させる方向で指導する。その上で、幼稚園・保育所におけるカリキュラム構成、保育内容の充実、子どもの成長発達に必要な環境構成や援助のあり方、さらに保育評価等について、理論的・実践的に研究する。先行研究の精読、研究の手法、データ収集と分析、学会発表、投稿論文の作成等をとおして段階的に指導を行い、保育現場に役立つ研究として独自性のある博士論文へ方向づける。</p> <p>(清矢良崇) 教育社会学、特にエスノメソドロジー・会話分析を中心としたミクロな社会化研究に関連する受講生各自の研究テーマについて、国内外の研究の報告、データ収集と分析、学会発表に向けた論文作成などを、教育臨床への応用可能性を吟味しつつ具体的に指導し、博士論文作成に向け、各自の研究を方向づける。</p> <p>(武田俊昭) 教育心理学(発達・学習・適応・評価等)に関する各自の研究テーマに添って課題を究明していく。具体的には、乳幼児の身体運動機能の発達と遊び、知的発達と障害、情緒や社会性と友だち関係、親子関係の現代的課題について教育心理学的に研究する。関係文献の抄読、先行研究の精読、研究デザイン、研究データの収集と分析などを個別指導する。学会発表、投稿論文の作成をとおして段階的に指導を行い独自性ある博士論文へ方向づける。</p> <p>(日浦直美) 幼児教育学・保育学領域の博士論文作成のために、各自の研究テーマに基づき、研究指導を行う。特に保育の今日的課題である子育て支援、幼児期の人権教育、幼小・保小の連携、保育者の専門性などについての社会文化的アプローチに興味・関心をもつ受講生が、各自の研究テーマに関連した国内外の先行研究を概観した上で、独自性のある研究課題を見出し、論文としてまとめるまでのプロセスを見守り、方向づけのための助言を行う。受講生は、最初に、先行研究のレビューを行い、これについての発表や討論を通してリサーチ・クエッションを明確にしていく。次に、論文構成と研究方法について検討した上で、必要な調査研究を行い、関連学会における口頭や論文による研究成果の発表を積み重ねながら、博士論文にまとめる。</p> <p>(橋本祐子) 乳幼児の発達心理学に関わる博士論文作成までの指導を行う。具体的には、幼児教育・保育現場および家庭における乳幼児の知的、社会的、道徳的発達とその発達に影響を及ぼす要因、乳幼児期の遊びと発達、発達理論に根ざした幼児教育・保育実践などについて受講生が独自性のあるテーマを研究し、幼児教育・保育実践の向上に貢献できる研究を目指すよう指導する。受講生は国内外の先行研究の精査はもちろんのこと、論文完成に向けて研究成果の発表と討論、学会発表や論文の発表などを積み重ねることが期待される。</p>	